

山口大学教職大学院設置 10 周年 実践研究推進大会開催

本大会は、令和7年8月10日（日）に、教職大学院設置10周年を記念し、修了生・現役院生・大学教員が世代や立場を越えて学び合うことを目的として開催された。分科会では、学校経営コース、教育実践開発コース、特別支援教育コースの各コースに分かれて、それぞれのテーマに基づいて協議を行った。以下に、各コースの分科会の様子について、院生からの報告を紹介する。

当日の大会進行

学校経営コース



分科会では、修了生と現役院生が学校経営をテーマに学び合う意義について共有された。修了後の実践経験と現役院生の問いが交差する場の重要性が確認されるとともに、教職大学院での学びを修了後も継続・発展させていく「学びの連続性」の大切さが示された。

教育実践開発コース

【私たちは、どのように「自分らしさ」を活かしながら、他者と共に学び、理想と現実のギャップを乗り越え、歩み続けられるのか】について協議した。本分科会を通して、「自分らしさ」とは、問い続ける姿勢の中にこそ現れてくるものなのかもしれないと捉えるようになった。また、「問いを持ち続け、探究し続けること」こそが、教師としての大きな力になるのではないかということ、を、少しずつ実感し始めている。

特別支援教育コース

分科会では、修了生、大学教員、退官された先生方、現役院生が混合グループに分かれ、率直な意見交換を行った。世代を越えて交わされた一つひとつの言葉から、このコースが大切にしてきた価値や、人と人とのつながりの深さが改めて感じられた。また、これまでの10年（当コースは7年）を確かめ合うと同時に、これからの10年への希望を分かち合う時間ともなった。

13:00～13:20 開会行事

・挨拶 山口大学 教授 中田 充
教授 佐々木 司

13:30～14:30 分科会

・報告 学校経営コース（1番教室）
教育実践開発コース（26番教室）
特別支援教育コース（15番教室）
・各コースでの協議

14:40～15:40 3コース合同全体会

・分科会協議報告 学校経営コース
教育実践開発コース
特別支援教育コース
・3コース混合協議「教職大学院 私たちの現在地」

15:40～15:50 閉会行事

・挨拶 山口大学 教授 重松 宏武

